



フツーにいるんだけど…

この時間お客さんいない
っていつてなかったっけ…

ねえ…



この二人は幼なじみの紗雪と七。
今日はバツゲームでふたりを
山の中にある露天温泉の
男湯につれてきてやった。

通報されちゃう!?
私たちタイホ!?

大丈夫大丈夫。
たまに女の子いたりするよ

見つかったらつまみだされるかも…
あはは…



あたしたち生身だよ生身！
やばいじゃん！

でもそういう子って
もっとちっちゃい子でしょ？

あんまさわぐとバレるぞ

それはそうとふたりとも！
いつまでもかくしてたらズルだろ！
俺は何もかくしてないんだから！

あはは…そうだね

うう…

はいピース


紗雪も七もピースして

で、できるわけないでしょ…

紗雪あんたやばいって…

えへへ…ピース





幼なじみの紗雪のはだか…
昔いっしょに風呂に入ったときの
記憶とはもう全然ちがうな…



うう……。わかったから

七ちゃんも早く……。私だけはちよつとはずかしい

大丈夫まだだれにもバレてないぞ！

今がチャンス♡

や、やばいよこれ...

おっっっ

やるじゃん





七はなんていうか…
ホツとするな！

俺より先におとなっぽく
なるんじゃないぞ！

今度あんたを女湯に入れてやるんだから…

はずかしいけど
やっぱり温泉はきもちいいね

こうして三人で
ゆっくりと温泉を
たのしんだ。

終



- 今回の登場人物 -

星 紗雪 (ほし さゆき)

5年3組

出席番号24番

優等生でとおっているが、
幼なじみの3人だけにいる
ときはちょっぴり弾けて
悪ふざけをすることも。
とりわけエッチな事に
興味津々のお年頃。



- 今回の登場人物 -

堀口七(ほりぐちなな)

5年3組

出席番号26番 新聞係

幼なじみの紗雪のほうが一足先に大人に近づいていっているのでもちよっぴり悔しい。

自分もクラスの男子からはそこそこ人気があることにあまり気づいていない。